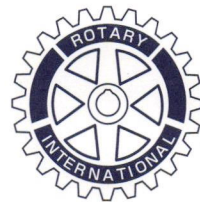
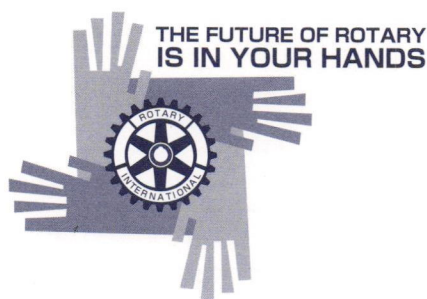


# 2009-2010



国際ロータリー 第2660地区

## 地区委員会 活動計画書



### 合同地区委員会

2009～2010年度ガバナー 大谷 透

2009.7.18 (土)  
大阪YMCA会館

# 目 次

1	合同地区委員会開催にあたって
2	地区ガバナー指名委員会
3	意義ある業績賞委員会
4	地区研修委員会
5	クラブ奉仕部門
	クラブ奉仕・拡大増強委員会
6	広報委員会
7	職業奉仕部門
	職業奉仕委員会
8~9	社会奉仕部門
	社会奉仕委員会
10	青少年奉仕部門
	新世代合同委員長会議・危機管理委員会
11~12	青少年活動委員会
13	ローターアクト委員会
14	インターアクト委員会
15~16	青少年交換委員会
17	国際奉仕部門
	国際奉仕・WCS委員会
18	ロータリー財団部門
	ロータリー財団委員会
19	財団情報・増進委員会
20~21	財団奨学金・学友委員会
22~23	研究グループ交換委員会
24~25	財団人道的補助金委員会
26	米山奨学部門
	米山奨学委員会
27~28	地区大会実行委員会
29	ロータリーの友
30~32	地区財務委員会
33	予算書
34~35	地区組織図

# 合同地区委員会開催にあたって

ガバナー 大谷 透

地区委員会の皆様、いよいよ新年度が始まりました。今年度の地区ロータリー活動に地区委員としてご協力頂きますこと、心より感謝申し上げます。

地区委員会の役目は個々のクラブの各分野における奉仕活動が、ロータリーの綱領(目的)に沿って活発になされるようサポートすることです。合同地区委員会は新年度にあたり、それぞれの所属部門の活動計画を発表し合い、確認し合う場であります。そして、もう一つの重要な目的は、各地区委員会の活動計画が個々のクラブに於いて生かされるために、クラブ全体を見渡して、その活動を指導・助言・評価する立場にあるガバナー補佐に、夫々の委員会の活動方針をしっかりと理解しておいてもらう事にあります。それは地区組織がその役割をよりよく果たすための鍵となります。

合同地区委員会はそのために開かれると言っても過言ではありません。

各委員会におかれましては、PETSと合同で開催されました地区チーム研修セミナーや地区協議会で、本年度の方針を聞き、すでに前年度からの引継ぎやノミニー委員会を開かれて、今年度の活動計画を立てられている事と思います。

今期のR I 会長ジョン・ケニー氏は マハトマ・ガンジーの「未来は、私たちが現在なすことによって決まる」という言葉を重く受け止め、今年度のテーマを「ロータリーの未来はあなたの手の中に」とされました。

『「あなたがたの」ではなく「あなたの」手の中に』です。そのテーマが示す如く、自分が信頼され、ロータリーの未来を自分に委ねられたのですから、責任を感じずにはおれません。ロータリーの公共イメージを高め、ロータリーの徳を立てるのは私たち自身の日頃の行動であります。そのためにはロータリアン一人ひとりが、奉仕・友情・高潔さなど、ロータリーの中核をなす価値観 (core value) をしっかりと身に付けなければなりません。

従って、第2660地区の方針としては「ロータリーを身に付けよう」を標語といたしました。ロータリーを身に付けるためには奉仕活動も、親睦活動も、自己研鑽も、健康管理も必要です。ロータリーを身に付けるための計画に積極的に取り組んで下さい。

ロータリーの未来はエバンストンにあるR I本部で形づくられるのではなく、個々のロータリー・クラブによってつくられるからです。

本日の合同地区委員会が、効果的に機能し、参加されたチーム・リーダーの一人お一人に有意義な示唆と活力を与える場となる事を願ってやみません。

# ガバナー指名委員会

委員長	横山 守雄 (大阪中央RC)
委員	宮田 宏章 (大阪北RC)
委員	神崎 茂 (大阪西RC)
委員	岩田 宙造 (大阪南RC)
委員	新谷 秀一 (池田くれはRC)

## 活動方針：

当委員会は、ガバナーノミネー選出に関するR Iの細則に基づき、2012-2013年度の当地区ガバナー候補者を選出すべく活動いたします。

# 意義ある業績賞委員会

委員長	横山 守雄 (大阪中央RC)
委員	岩田 宙造 (大阪南RC)
委員	新谷 秀一 (池田くれはRC)

## 活動方針：

RI章典によりますと、「意義ある業績賞」は重要な問題、またはニーズに取り組むクラブの活動を表彰するプログラムであると定められております。その目的は全てのクラブに新プロジェクトを奨励し、かつクラブが模範的な活動を行うことの重要性について理解を深めることであり、下記の事項を満たすものでなければならないと記されております。

- ・ 地域社会の顕著な問題やニーズに取り組むもの。
- ・ 殆どの、又は全てのクラブ会員が、単に財政面の奉仕ではなく、身をもって奉仕活動に参加し、クラブの規模と資源に比例するものであること。
- ・ 地域社会において、ロータリーのイメージを強化するものであること。
- ・ 他のロータリークラブも実施出来るようなものであること。
- ・ 表彰年度に進行中、或いは完了されたものであること。
- ・ 単一のロータリークラブによって実施されたものであること。

当委員会は、以上の条件に基づき、受賞資格クラブを検討し、地区ガバナーに受賞候補クラブを推薦いたします。

## 地区研修委員会

リーダー	戸田 孝 (八尾RC)
サブリーダー	井上 暎夫 (千里RC)
サブリーダー	神崎 茂 (大阪西RC)
サブリーダー	横山 守雄 (大阪中央RC)
委員	金森 市造 (くずはRC)
委員	三木 優 (大阪イブニングRC)
委員	矢野 巖 (大阪大淀RC)
委員	北川 哲 (大阪南RC)
委員	西上 博幸 (吹田江坂RC)
委員	宮里 唯子 (茨木西RC)
委員	畑田 耕一 (豊中RC)

### ○活動方針

地区ガバナーと協力し、地区内における以下の研修ニーズに対応する。

- a) クラブレベルの指導者育成研修
- b) 適宜、地区内におけるその他の研修会

### ○活動計画

ガバナー・エレクトと協力し、以下の研修ニーズに対応する。

- a) 地区チーム研修セミナー (ガバナー補佐の研修を含む)
- b) PETS
- c) 地区協議会

# クラブ奉仕委員会

## クラブ奉仕・拡大増強委員会

委員長	松川 雅典 (新大阪RC)
副委員長	常國 克輔 (大阪城北RC)
副委員長	西村 俊彦 (東大阪みどりRC)
委員	川上 善司 (大阪平野RC)
委員	安田 千恵子 (大阪柏原RC)
委員	安養寺 敏彦 (交野RC)
委員	松尾 浩一 (大阪南RC)
委員	堀 隆 (大阪東RC)
委員	松田 清司 (大阪東南RC)

### ○活動方針

本年度はジョン・ケニーRI会長の方針に従い、各クラブとも年度当初の会員数を減じることなく2010年3月31日までに少なくとも1名の増強を達成するべく取り組みます。そのためには会員数の減少についての従来の諦めムードを断ち切り、また減少原因ばかりを議論し評論家的態度に終止してきたのを改め、増強に向けて行動する各クラブに変身させるような活動を展開します。

またCLPの更なる浸透を図るために現在までにCLPを取り入れて成功した実例を調査して各クラブにその調査結果をお知らせし各クラブのCLPの導入を促進してクラブの活性化を図ります。

### ○活動計画

各クラブの増強に対する意識改革を促すために、次年度に入る前の2009年5月30日(土)に大阪YMCA会館にて「会長の熱意で会員は増える」とのテーマで、会員増強に成功した名古屋東南ロータリークラブから伊藤秀雄氏をお招きして成功体験の秘訣をお聞きし、その後具体的な事例を設定してのバズセッションを行い具体的な増強の方法を討論します。その結果増強に効果的な方法を見出し、それを地区の推奨方法として8月の会員増強月間前に各クラブに伝達し具体的増強活動を開始していただきます。そして地区としてそのフォローも行います。

CLPに関しては、どのクラブも一応は検討に入られ既に導入済みのクラブが相当数あります。そこでCLP導入につきアンケート調査を実施して成功例を調査してその結果を各クラブにフィードバックして各クラブのCLPへの取り組みをより促進させます。

## 広報委員会

委員長	中島 武 (大阪堂島RC)
委員	上田 克己 (大阪RC)
委員	片山 一步 (大阪住之江RC)
委員	源本 将人 (くずはRC)
委員	砂川 秀雄 (大阪西北RC)
委員	濱田 多喜男 (大阪うつぼRC)
委員	木村 芳樹 (大阪南RC)

### ○活動方針

ロータリークラブの知名度を上げるため、各クラブ広報委員長の率先のもと個々のロータリークラブの広報活動がより活発になるようサポートしていききたいと思います。

### ○活動計画

1. クラブ広報委員長会議を年3回開催し、講師を招き広報のやり方、また、広報の重要性を認識してもらう。
2. 産経新聞社の協力で紙面でユニークなロータリアンの紹介をする。
3. ラジオ大阪を通じてロータリー広報を一般の方々に聞いてもらう。



# 職業奉仕部門

## 職業奉仕委員会

委員長	中嶋 進治 (大阪城東RC)
副委員長	上田 耕司 (大阪大手前RC)
委員	鈴木 洋 (八尾東RC)
委員	長崎 弘芳 (大東中央RC)
委員	若林 尚史 (くずはRC)
委員	岸本 隆之 (豊中千里RC)
委員	佐野 元英 (大阪平野RC)
委員	生駒 俊雄 (高槻RC)

### ○活動方針

「実践する職業奉仕」

職業奉仕はロータリーの神髄というべきものです。又、職業奉仕は各ロータリアンが日常生活の中で実践する必要があります。

地区委員会としては、この職業奉仕の理念を各ロータリアンに一層理解して頂くよう働きかけると共に、各クラブが行っている職業奉仕活動の手助けとなるよう、活動していきたいと思えます。

### ○活動計画

#### 1 職業奉仕委員長会議

##### ①第1回 (2009年8月29日 YMCA)

本年度の各クラブの職業奉仕の事業計画についてアンケートをとり、これを紹介し、各クラブの職業奉仕事業の推進に努めます。

又、神崎茂パストガバナーに職業奉仕の理念と実践についてのお話と、畑田耕一前職業奉仕委員長 (現研修委員) に出前授業についてのお話をして頂き、各クラブの職業奉仕委員長に、職業奉仕についての理解を深めて頂きます。

##### ②第2回 (2010年3月 場所未定)

本年度の各クラブで実施した職業奉仕事業についてのアンケートを集約し、これを題材に各クラブの委員長に職業奉仕事業についてのあり方を考えて頂き、次年度以降の事業の充実を図ります。

又、職業奉仕の理念と実践を考えるうに適切な講師を選定し、講話をして頂きます (講師は現在考慮中)

#### 2 出前授業の推進

ここ数年地区で取り組んできた出前授業を一層推進します。

#### 3 「ロータリーの神髄—職業奉仕」の作成と配布

前年度、ガバナー月信に寄稿して頂いたパストガバナーの「ロータリーの神髄—職業奉仕を語る」を小冊子にして、全会員に配布します。

# 社会奉仕部門

## 社会奉仕委員会

委員長	片山 勉 (大阪東RC)
副委員長	表 寛治 (池田くれはRC)
副委員長	高田 知彦 (大阪リバーサイドRC)
副委員長	森川 嘉夫瑠 (摂津RC)
委員	初木 賢司 (くずはRC)
委員	川上 大雄 (大阪ユニバーサルシティRC)
委員	西宮 富夫 (箕面RC)
委員	萬年 成泰 (千里RC)
委員	土井 孝夫 (大阪東RC)

### ○活動方針

本年度R I会長は一人ひとりのロータリアンがロータリーとその理想に対して責任を担っていることを今一度思い起こし、理解してほしいと述べられておられ、地区大谷ガバナーは「ロータリーを身につけよう」をテーマとして掲げられました。

社会奉仕に関し「ロータリアンのすべてが、個人生活・事業生活および社会生活に奉仕の理想を適用することを奨励、育成することである」との決議声明があります。

社会奉仕委員会としましては、奉仕活動の主体である各クラブに対して、ルーティン化された奉仕活動ではなく、これらロータリーの原点をふまえ活力を生み出す奉仕活動を実現できるように、より一層連絡を密に活動してまいります。

各クラブは子供たちを対象に、多くの社会奉仕活動を実施されています。また、地区ガバナー方針の中でも子供をとりあげておられます。

保健衛生・環境・交通問題・教育と活動の範囲は多岐に渡りますが、奉仕するのはロータリアンでありロータリークラブです。

クラブにおける奉仕活動がより充実したものになるように、そしてより魅力あるものにしていただきたいと思います。

次に単独のクラブで実行するよりも複数のクラブのロータリアンが一緒に実行する方が効果的な奉仕活動があれば、地区委員会として、その情報を他のクラブに提供したいと思っております。

社会奉仕活動を効果的に進めるため、充実した委員会運営をするために、各クラブのご理解とご協力をお願いいたします。

## ○活動計画

※各クラブの奉仕活動を定期的にアンケート等により内容をお聞きし、広報委員会と連携し、情報を継続的に蓄積し、ロータリアンが必要に応じ、いつでも全てのクラブの社会奉仕活動を参考にできるようにします。

合わせて、積極的にマスコミ等への広報につとめます。

(後期に開催するクラブ委員長会議テーマ)

\*大阪府並びに日本赤十字との連携による活動については、ロータリークラブだからこそ可能な奉仕を共に考え、実行します。(前期に開催するクラブ委員長会議テーマ)

### 《社会奉仕活動》

- ・薬物乱用防止活動「ダメ・ゼッタイ運動」
- ・交通安全活動
- ・環境保全活動「豊かな環境づくり大阪府民会議」  
「道を紡ぐ」キックオフイベント
- ・献血活動(日本赤十字)

### 《社会奉仕関連活動》

- ・災害に対する義捐金依頼
- ・自殺防止義援金への協力

# 青少年奉仕部門

## 新世代合同委員長会議

議長	吉川 謹司	(東大阪東RC)
委員	陶 柳之介	(箕面RC)
委員	津本 清次	(大阪淀川RC)
委員	田中 康正	(八尾RC)
委員	岡田 俊作	(大阪本町RC)
委員	山下 勝弘	(東大阪RC)
委員	吉川 邦英	(大阪RC)
委員	村橋 義晃	(大阪中之島RC)
委員	中島 武	(大阪堂島RC)

### ○活動方針

2007年の規定審議会以降、R Iの新世代に対する期待感は、ますます強くなってきています。新世代に関する各委員会が連絡を密にして活動し、協力関係をより強固なものにすることで、一層の成果があげられるよう努力します。

### ○活動計画

2006年2月の新世代合同委員長会議で、新世代による新クラブ設立の可能性について話し合われ、2007年準備委員会が発足、同年11月には、大阪ネクストロータリークラブが誕生しました。

本年も、昨年同様、大阪ネクストロータリークラブの発展を側面から支援し、あわせて、更なる新世代に対する関心を地区内に高めていきたいと考えます。

### 危機管理委員会

上記メンバーに加え、松本新太郎（八尾）、岩本洋子（大阪そねざき）の両氏と、外部から菅沼清高氏によって委員会を構成します。昨年度報告の通り、青少年交換プログラムはこの委員会設立がR Iの条件となっておりますが、当地区では新世代プログラムもこれに準じた対応をいたします。

## 青少年活動委員会

委員長	陶 柳之介 (箕面RC)
副委員長	岡本 啓吾 (大阪中之島RC)
副委員長	米田 良介 (大阪そねざきRC)
委員	新庄 幸一 (枚方RC)
委員	丸尾 照二 (大阪御堂筋RC)
委員	餅野 法善 (大阪なにわRC)
委員	南 樹一 (大阪南西RC)
委員	荒石 義一郎 (大阪咲洲RC)
委員	小川 泰彦 (大阪梅田RC)
委員	辻本 容治 (寝屋川RC)
委員	金馬 隆仁 (吹田江坂RC)
委員	植田 昌克 (大阪北RC)
委員	二上 寛弘 (大阪阿倍野RC)
委員	井上 嗣仁 (大阪中央RC)
委員	角本 浩一 (大阪城北RC)
委員	桑田 日出男 (大阪難波RC)

1976年に日本で初めて当時の266地区(現在の第2660, 2640地区)から始まったRYLAの歴史と伝統を受け継ぎつつ本年度は原点に戻ったRYLAを行いたいと考えております。ただ参加するだけでなく、参加者自らが考え、議論し、行動するといった本当の意味での指導者を養成していきます。

また、ライラリアンの養成、チームライラの育成に力を入れた活動を行います。それと共に当地区独自のプログラムである少年少女ニコニコキャンプを行うことにより少年達には、集団生活でチームワークを作ること、新しい友達との交流、自然とのふれあい、以上の3つのことについて体験してもらい、なおかつ、ローターアクトやライラリアンを中心とした青年がリーダーとなってユースリーダーの研修を積む実習の場としたいと考えております。

更に、今年度はローターアクト委員会とも連携しながら、より充実した内容のプログラム作りを目指します。

以上に基づき下記の活動を行います。

事業名	内 容
少年少女 ニコニコキャンプ	開催日：2009年7月31日～8月1日 場 所：大阪府立青少年海洋センター ホストクラブ：大阪御堂筋RC
秋のライラ 初級ライラ	開催日：2009年10月10日(土)～12日(月) 場 所：関西大学 高槻キャンパス ホストクラブ：大阪阿倍野RC
秋のライラ 上級ライラ プレキャンプ	開催日：2009年9月 場 所：ガバナー事務所 ホストクラブ：大阪阿倍野RC
秋のライラ 上級ライラ	開催日：2009年10月 場 所：関西大学 高槻キャンパス ホストクラブ：大阪阿倍野RC
春のライラ 初級ライラ	開催日：2009年5月2日～4日 場 所：大阪府立青少年海洋センター ホストクラブ：大阪城北RC
第1回正副委員長会議	開催日：2009年10月10日(土) 場 所：関西大学 高槻キャンパス
第2回正副委員長会議 と ライラ報告	開催日：2010年5月 場 所：未定
国際ライラへの派遣	チームライラのメンバー(3名以内)を研修として 国際ライラに派遣いたします。

ロータリアンの皆様には将来を担う青少年指導者養成の重要性をご理解頂き、同時に参画をお願い致します。

## ローターアクト委員会

委員長	津本	清次	(大阪淀川RC)
副委員長	山内	康俊	(大阪西RC)
副委員長	池田	佳弘	(大阪梅田RC)
副委員長	梅澤	喜八郎	(東大阪西RC)
副委員長	山村	安徳	(東大阪東RC)
副委員長	川上	富清	(大阪住吉RC)
委員	福室	忠正	(吹田RC)
委員	西村	晋	(池田くれはRC)
委員	清水	雄一郎	(大阪北RC)
委員	中村	剛	(大阪南RC)
委員	永田	大介	(池田RC)
委員	辻本	一義	(東大阪RC)

### ○活動方針

ローターアクトの活動はR Iのテーマの下、日本全国の各地区のみならず、世界の地区のロータリーが取り組んでおります。したがって、ローターアクトの活動は地区全体で取り組むべきテーマです。

ところが、当地区にあっては地区内20数ロータリークラブの提唱のもと、20のローターアクトクラブが存在しているのが現状であります。地区全体で取り組んでいるとはとても言えないのが現状です。将来のリーダーとして日本を背負って立つ青年男女に意義ある体験を積み、活発な活動をし、目的を持って成果をあげるにはローターアクトのメンバーがあまりにも少ないと思われます。今年度は約250名でスタートする予定です。

昨年度から始めたサポートシステムを理解していただきローターアクトの会員を増員することが地区ローターアクトの活性化につながり、将来のロータリークラブの発展につながると考えます。

地区委員会はローターアクトの活動を理解し、陰から応援、援助を行いたいと考えています。

### ○活動計画

ローターアクトの活動は、各クラブが独自に行うものと、地区全体で取り組むものの両方があります。各クラブが独自に行う活動は、提唱クラブの指導と監督が基本です。但し、その活動内容については、毎月1回、北、中、南の各ゾーン毎に開催の会長会(年間36回)で報告されます。この内容は地区委員会ではすべて把握しています。

地区全体の活動は、例年毎月2回の地区役員会、年2回の地区献血と連絡協議会、海外研修(バリ島を予定)、ローターアクト全国研修会(名古屋地区の予定)、近畿地区4地区情報交換交流会、年次大会(ホスト吹田)と会議、行事が頻繁に開催されます。

これらの会議、行事に地区委員会は積極的に関わって暖かく見守り、必要なサポートを積極的に行います。

## インターアクト委員会

委員長	田中 康正 (八尾RC)
副委員長	谷野 清孝 (大阪阪南RC)
副委員長	廣内 謙 (大阪南RC)
委員	奥田 吾朗 (大阪RC)
委員	田川 和見 (大東RC)
委員	若林 嘉寛 (大阪住吉RC)

### ○活動方針

インターアクト委員会は、国際ロータリーの2009-10年度のテーマである、「ロータリーの未来はあなたの手の中に」に沿い、社会奉仕および国際理解の拡張を目指す活動を実施します。

- 1) 各学校と協力してインターアクトクラブを支援する。
- 2) 学校や提唱RCの理解、協力を得て、新クラブ設立発展に努めます。
- 3) 学校や提唱RCの意見を尊重して、個性溢れる活動を行います。

### ○活動計画

#### 1、海外研修 (副幹事校)

海外のインターアクトクラブやロータリアンとの交流を通して国際理解を深める。

提唱；大阪住吉ロータリークラブ

担当；浪速中学校・高等学校インターアクトクラブ

実施日；未定

訪問日；未定

#### 2、年次大会 (主幹事校)

各校のインターアクトクラブ、ロータリアンが集い、社会奉仕イベントや活動報告を行う。

提唱；大阪南ロータリークラブ

担当；清風中学校・高等学校インターアクトクラブ

実施日；2009年9月27日 (日)

場所；清風学園

#### 3、SCRUM#34発行

インターアクトの年間活動記録をまとめたSCRUM#34号を編集発行いたします。

提唱；大阪阪南ロータリークラブ

担当；四天王寺高等学校・中学校インターアクトクラブ

期日；2010年3月頃

#### 4、新入生歓迎会

インターアクトクラブの新入生を歓迎し、各校クラブ全員で交流いたします。

提唱；大阪南ロータリークラブ

担当；清風中学校・高等学校インターアクトクラブ

期日；2010年6月頃

場所；未定。

#### 5、合同会議

ガバナー・地区新世代合同委員長会議議長、地区委員、各クラブ正副委員長、顧問先生を召集し、活動計画や概況報告を通して情報交換をする。

実施日；随時

以上



## 青少年交換委員会

委員長	岡田 俊作 (大阪本町RC)
副委員長	泉 博朗 (大阪住吉RC)
委員	吉野 正史 (大阪天満橋RC)
委員	角谷 真枝 (茨木西RC)
委員	田邊 和宏 (大阪西南RC)
委員	金本恒二郎 (大阪天王寺RC)
委員	小林 博隆 (大阪梅田RC)
委員	野村 正勝 (箕面中央RC)
委員	濱谷 和也 (東大阪RC)
委員	森本 章裕 (大阪天満橋RC)

### ○活動方針

青少年交換プログラムを通じて、交換学生に異文化を体験させ、異なる国や地域とその人々への理解を深めることで国際理解を推進し、ロータリーの目的である世界平和の実現へ貢献出来る国際人を養成します。

当委員会では、可能な限り多くの高校生をより多くの国や地域と交換し、交換学生自身の人間的成長と共に、ロータリーの目的達成を目指します。

### ○活動計画

#### 1. 青少年交換計画：

長期派遣 (1年間) : 8名                      短期派遣 (夏休み) : 3-4名

長期受入 (1年間) : 8名                      短期受入 (夏休み) : 3-4名

交換相手国：アメリカ、カナダ、ドイツ、フランス、スイス、ポーランド、オーストラリア

#### 2. ホストファミリーバンクの拡充：

青少年交換プログラムは、1972年にRIの正式プログラムになって以来、ロータリアンの子弟が参加出来る唯一のプログラムとなり、世界中で年間約8000名の高校生が交換されています。このプログラムは、言葉の通り「交換」ですので、派遣と同時に海外からの来日学生を受入れなければなりません。派遣の場合は、当委員会で開催しているオリエンテーションやその他の行事へ派遣生自身が参加して、派遣へ向けての準備をしますので、派遣するクラブ (スポンサークラブ) の負担はあまりありませんが、来日学生を受入れには、受入クラブ (ホストクラブ) での費用負担もありますが、何よりもホームステイ先の3-4家庭のホストファミリーを確保しなければなりません。然し乍ら、会員数の減少や会員の高齢化が進んでいる為に、ホストファミリーの確保に苦労しているのが現状です。

そこで、このプログラムへの参加経験の有無を問わず、クラブの枠を超えて地区のロータリアン全員からホストファミリーを募集することになり、昨年度からホストファミリーバンクを設立致しました。

プログラムへの参加経験のないクラブや今はやっていると云うクラブにも青少年交換に興味のあるロータリアンがおられると思います。次代を担う青少年の育成とロータリアン自身の国際理解を深める機会になりますので、国際奉仕や青少年奉仕の一環としてホストファミリーバンクへの登録をお願い致します。

### 3. 広報活動の拡充：

4月24日にラジオ大阪の「わが町のロータリアン」で青少年交換についての放送がありました。亦、委員会主催の来日学生と派遣学生対象の広島研修旅行で広島市長へ千羽鶴を奉納し、その記事が4月19日の中国新聞に掲載されています。

当委員会では、これらの活動やインターネットのホームページを通じて、このプログラムの素晴らしさと重要性をPRしていますが、内容を更に充実させて、ロータリアンへのPRのみならず広く一般の皆様にも理解の輪を広げたいと思っています。

### 4. ROTEXの充実：

海外へ派遣した学生が、交換を終えて帰国すると、それまでの帰国学生で組織している会であるROTEX(ROTary EXchangeの略)へ入会します。ROTEXの会員は、単なる帰国学生の集まりではなく、来日学生の面倒をみたり、これから派遣される学生へのアドバイスや当委員会の行事へも積極的に参加してくれています。今やROTEXなしでは、スムーズな行事運営も考え難い状況です。

ROTEXもロータリーの地区単位で組織されていますが、全国大会も既に5回を数えており、パワーフルな組織に成長しています。全国の青少年交換委員会並びにプログラムへの更に強力なサポーターとして充実させるべく支援したいと思います。

# 国際奉仕部門

## 国際奉仕・WCS委員会

委員長	戸田 和孝 (大阪東淀ちややまちRC)
副委員長	小林 澄子 (守口イブニングRC)
副委員長	古澤 照明 (豊中RC)
委員	石田 秀 (大阪西南RC)
委員	大藤 辰弘 (吹田西RC)
委員	谷村 佳昭 (東大阪西RC)
委員	西邨 智雄 (香里園RC)
委員	吉田 政雄 (茨木RC)
委員	栗原 大 (大阪フレンドRC)

### ○活動方針

第2660地区は全国的に見ても、国際奉仕・WCS活動が非常に活発な地区である。その伝統を引き継ぐ形で、今年度も各クラブの活動をサポートしていきたいと考えている。

国際奉仕活動としては、交換留学生の受け入れや国際大会への参加の呼びかけ、また、姉妹クラブ提携のサポートなどを行っていく。

WCS活動としては、各クラブの自主性を重んじる姿勢を基本とし、プロジェクトが未定のクラブに対してメニューを提示できるように、東南アジア方面を中心にニーズを掘り起こしていきたいと考えている。

現地視察、成果確認により、ロータリアンの活動がどのような形で実を結んだのかを確認することで、より充実した奉仕活動の連鎖が広がるよう、力を尽くしていく所存である。

### ○活動計画

2009年6月初めに、ベトナム・タイ・カンボジアを委員会で訪問し、現地の事情を視察してきた。それを踏まえてプロジェクトを立案し、地区の各クラブにメニューとして提示したいと考えている。もちろん、クラブで独自のプログラムを既に計画しているところには、側面からの支援を行っていく。最終的には、地区のすべてのクラブが、何らかの形で、具体的な活動に参画し、現地とコンタクトを持てるように導くのが、委員会の役割だと考えている。

ただ、世界的不況の影響で使用できるWFが大幅に減ったため、MGの実行が難しくなるであろうことが予想される。それに対応すべく、できるだけ申請を早く行うことを呼びかける一方、仮にWFが下りない場合には、地区補助金の活用の可能性を探るとか、複数のクラブが協力してプロジェクトを推進するとか、委員会として次善の策を講じなければならないかもしれない。その場合、クラブの垣根を越えた国際奉仕・WCSの連携を視野に入れて、活動していきたいと思っている。そのためには、できるだけ具体的に、各クラブの国際奉仕・WCS活動の計画概要を把握しておく必要があるため、地区内の各クラブへの国際奉仕・WCS活動に関するアンケートの実施、集計を早期に行いたい。

また、補助金制度の改訂問題も、概要を説明しておく時期にきているので、委員長会議などで題材として採り上げ、周知を図っていきたいと考えている。

## ロータリー財団部門

### ロータリー財団委員会

委員長	福家 宏 (八尾中央RC)
委員	大竹 洋一郎 (門真RC)
委員	吉川 邦英 (大阪RC)
委員	山下 勝弘 (東大阪RC)
委員	山口 勝之 (高槻東RC)

地区ロータリー財団委員会は①情報・増進 ②研究グループ交換 ③奨学金・学友 ④人道的補助金 の4委員長により構成されています。当委員会の役割は4委員会との連携を密にし、新しいロータリー財団情報を共有して地区内各クラブ／ロータリアンにそれをお伝えした上、ロータリー財団の各種活動プログラムが地区内各クラブの社会奉仕・国際奉仕活動の上に十分活用されるよう支援することです。

各種の活動プログラムの多くはロータリー財団からの補助金を活用することにより、その活動規模を拡大し活発なものにすることが出来ます。補助金の有効活用はクラブの活性化に繋がるものであり、多くのクラブに補助金を利用して頂けるよう当委員会は支援致します。

補助金の資金源はロータリアンの年次寄付や恒久基金への寄付金です。寄付金が多ければ獲得できる補助金は増えます。各種の奉仕プロジェクトを活発に進めるには、ロータリー財団への寄付の増強を進めなければならず、これもこの委員会の大きな役割です。

ロータリー財団の補助金制度は2013-2014年度から大きく変化します。これは「未来の夢計画」というロータリー財団の新しい構想に基づくものです。次年度からの3年間は世界中の約100地区（パイロット地区）で、新しいシステムによる補助金活動が実施されます。新しい制度の発足に向けて当委員会はロータリー財団地域セミナーやウェブサイト、その他ロータリー財団からの様々な新しい情報を速やかに獲得し、地区内クラブに伝達して参りたいと考えています。

「今こそポリオの撲滅を!!」の標語を掲げて、ロータリー財団はポリオ根絶の実現のために最後の力を振り絞っています。ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団は、ポリオ撲滅のために3億5500万ドルという巨額の寄付金をロータリーに託しました。ロータリーはこれを受けて「ロータリー2億ドルのチャレンジ」を始めており、当委員会は地区内ロータリアンにポリオの情報を広く提供し、呼びかけて寄付金の要請を致します。

## 財団情報・増進委員会

委員長	大竹 洋一郎 (門真RC)
副委員長	百済 洋一 (東大阪中央RC)
委員	長谷川 龍司 (豊中南RC)
委員	西田 末彦 (大阪中之島RC)
委員	鈴木 肇 (大阪船場RC)
委員	柏木 武生宜 (八尾RC)

### ○活動方針

各クラブの財団委員長会議を通じてロータリー財団に関する情報を提供し、財団活動に対する理解とその浸透を図る。とくに、財団の4委員会と連携を密にして、財団プログラムの活用を促進し、クラブの活性化と寄付への理解を深めたい。寄付の増進については、各クラブが設定した目標を完遂しあわせて地区目標を達成できるよう、あらゆる機会に啓発、支援していく。

### ○活動計画

- ・地区財団セミナー 2009年08月29日(土) 13:00～ 大阪YMCA
- ・クラブロータリー財団委員長会議 2009年10月24日(土) 13:30～ 大阪YMCA  
上記会議において情報提供・寄付増進への働きかけをする。
- ・ロータリー財団月間 11月  
財団活動の理解をさらに深めてもらう。要請によりクラブへ講師派遣等の支援をする。
- ・シェアー会議 2010年02月 日時未定 ガバナー事務所
- ・情報・増進委員会

地区行事の準備等に関する打合せを3回開催する。

- 第1回 2009年07月30日(木) 16:00～ ガバナー事務所
- 第2回 2009年10月08日(木) 16:00～ ガバナー事務所
- 第3回 2010年02月04日(木) 16:00～ ガバナー事務所

### ○地区募金目標

ガバナーの方針に基づき下記とする。

- 年次寄付 1人13,000円以上
- ポリオ撲滅寄付 1人4,000円以上 ポリオ撲滅ロータリー2億ドルのチャレンジ
- ベネファクター 各クラブ1名以上
- 大口寄付 地区として1名以上
- \*ロータリー・カード保持者 1クラブ3人以上(累積)

今日の財団プログラムを支えている年次寄付と、明日の財団プログラムを安定させる恒久基金(ベネファクター、大口寄付)があり、両方の寄付は同時に重要である。各クラブと連携を密にし、目標の達成に最大限努力する。

## 財団奨学金・学友委員会

委員長	山下	勝弘	(東大阪RC)
副委員長	梅崎	道夫	(大阪城南RC)
委員	栢本	義臣	(吹田西RC)
委員	河内	幸枝	(吹田RC)
委員	道満	隆	(豊中—大阪国際空港RC)
委員	入船	禎三	(大阪東RC)
委員	北埜	登	(東大阪東RC)
委員	岡市	正規	(茨木東RC)
委員	三好	えり子	(大阪そねざきRC)
委員	牧尾	晴喜	(大阪ネクストRC)

### ○活動方針

#### 国際親善奨学生の募集・選考

国際親善奨学生の制度は、財団の活動の中で大きなウェイトを占めています。その活動資金が有効に使われるよう、国際親善奨学生として相応しい人を募集し選考してまいります。

国際親善奨学生の募集に関しましては、各クラブからのご推薦が必要となります。各クラブにおかれましては、国際親善奨学生の制度にご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

#### 国際親善奨学生のためのオリエンテーション

前年度に選考いたしました国際親善奨学生候補者について、3回のオリエンテーションを実施いたします。オリエンテーションには、ロータリアンのカウンセラーにご同席いただきますので、ご協力をお願いいたします。

#### 世界平和フェローの募集・選考

当地区から2005-07年度の世界平和フェローとして寺西悦子さん(第4期生)が選ばれて、現在、活発な活動をしておられます。今年度は、世界平和フェローの候補者のご推薦もお願いしたいと存じます。

#### P S C活動の支援

すでに国際親善奨学生等として海外に留学し、帰国した人たちの組織をP S C (Past Service Club) といいます。当クラブの活動は、P S Cのメンバーの協力なしにはできません。

P S Cのメンバーが活発に活動できるよう、当委員会は全面的にP S C活動を支援してまいります。

2009-2010年度 財団奨学金・学友委員会 行事予定表

月 日	曜日	時 間	行 事	場 所
2009年7月18日	土	13:00~17:00	合同地区委員会	大阪YMCA会館
7月18日	土	17:30~20:00	第1回財団奨学金・学友委員会 (委員会歓送迎会)	
8月29日	土	13:30~16:30	地区財団セミナー	大阪YMCA会館
9月12日	土	13:00~14:00	第2回財団奨学金・学友委員会	薬業年金会館
		14:30~17:45	第1回国際親善奨学生リエンテーション	
			PSC総会	
		18:00~19:30	奨学生歓迎会 @402号室	
10月24日	土	13:30~16:30	クラブロータリー財団委員長会議	大阪YMCA会館
12月5日	土	17:00~18:00	第3回財団奨学金・学友委員会	
		18:00~20:00	PSC忘年会・帰国報告会	
2010年2月26日(金)~2月27日(土)			地区大会	大阪国際会議場
2月27日	土	地区大会終了後	第3回財団学友の集い	
3月6日	土	11:00~12:00	第4回財団奨学金・学友委員会	
		13:30~16:30	第2回国際親善奨学生リエンテーション	
		17:00~19:00	PSC例会・懇親会	
4月11日	日	午後	2011-2012年度奨学生第一次試験 (小論文)	ガバナー事務所
4月24日	土		地区協議会	大阪国際会議場
5月15日	土		国際親善奨学生第一次選考会 世界平和フェローシップ候補の面接	ガバナー事務所
6月6日	日	13:00~17:00	2011-2012年度奨学生第二次試験 (面接)	ガバナー事務所
6月26日	土	11:00~12:00	第5回財団奨学金・学友委員会	薬業年金会館
		13:30~16:30	第3回国際親善奨学生リエンテーション @号室	
		17:00~19:00	PSC例会・奨学生歓送会 @号室	

## 研究グループ交換委員会

委員長	吉川 邦英	(大阪RC)
副委員長	吉崎 広江	(東大阪東RC)
委員	小野 佳彦	(大阪難波RC)
委員	西野 博子	(大阪イブニングRC)
委員	田中 義久	(大阪西RC)
委員	岸上 億則	(千里メイプルRC)
委員	田邊 司郎	(寝屋川RC)
委員	松崎 浩一	(大阪北RC)
委員	米田 真	(豊中RC)

### ○活動方針

GSEはロータリー財団の教育的プログラムのひとつであり、国際親善奨学金に次いで1965年から始まったプログラム。

国際ロータリー/ロータリー財団の使命である他者に奉仕し、高い倫理的基準を促進し、事業と専門職務および地域社会のリーダー間の親睦を通じて世界理解、親善、平和を推進することの一翼を担っています。

今年度は米国テキサス州第5870地区との交換（受け入れ2010年3月27日～4月23日/派遣4月23日～5月21日）が既に決定されています。

このGSEプログラムの目的が最善の成果とともに達成されるように第5870地区との交換を広く第2660地区内各クラブに伝達し、出来る限り多くのクラブとロータリアンがこのプログラムに参加していただけるように活動していきます。また派遣チームが相手地区でベストパフォーマンスを発揮できるように派遣前の研修と指導を行います。

### ○活動計画

- 1) 月次委員会を原則各月開催し、以下の受け入れ/派遣、それぞれのテーマ/活動につき協議する。

同委員会にはガバナー・ガバナーエレクト・財団委員長にも出席を要請する。

- 2) 派遣については7～8月に団員の選考を実施。

10月に団員の顔合わせ、オリエンテーションを開催。

4月23日の出発までに、地区大会やGSEアルムニ会への出席によりロータリー/GSE活動につき学習してもらうとともに、現地テキサスでのプレゼン資料作成の指導・ユニフォーム・名刺の制作・語学研修補助等の支援活動を行う。

また各団員の職種に適した研修がプログラムされるよう相手地区に要請する。



- 3) 受け入れについては11月に地区受け入れ実行正副委員長クラブ（4ブロック計8RC）を招集し、受け入れにあたっての役割分担を示すとともに具体的計画の作成をスタート。3月27日の相手地区チーム来日までに原則として毎月受け入れ実行委員会を開催し、相手チーム団員構成に適した各種研修プログラムを設定する。  
ホストファミリーには別途、団員ホームステイにあたってのオリエンテーションを実施。
- 4) 2010-12年度GSEについては各年度ではなく相手地区との派遣/受け入れが2年間の期間で行われることになった。財団への申請は例年通りの基準であれば10月1日が申請書の提出期限。ガバナーエレクト/ノミニーの意向を受け2010-12年度のGSE事業の有無を決定し、実施の場合は9月末までに相手地区を選定のこと。
- 5) 報告書・文書の作成にあたっては、単年度の活動の成果が蓄積され次年度以降の活動の効率化と円滑な事業運営につながるように保管・管理の明確化。（G事務所にて管理可能なCDにて保存する。）
- 6) GSEアルムニ会活動への参加と活動支援を行う。
- 7) 地区内の各種行事、合同地区委員会7/18・地区財団セミナー8/29・地区大会2/26-27・PETS・地区協議会への参加。また、GSE活動啓蒙のための卓話活動。

## 財団法人道的補助金委員会

委員長	山口 勝之 (高槻東RC)
副委員長	太田 敏一 (大阪西南RC)
副委員長	家村 武志 (吹田西RC)
委員	辻川 功一 (大阪中央RC)
委員	山本 雅昭 (大阪北RC)
委員	樋口 信治 (大阪RC)
委員	五味 千秋 (大阪心齋橋RC)
委員	和氣 主 (大阪北梅田RC)
委員	川田 隆 (八尾RC)

### ○活動方針

できるだけ多くのクラブに補助金の利用方法を知っていただき、補助金の利用率が高まるよう努力する。

- ・財団地域セミナーハンドブックの存在を全会員に認識していただく。
- ・補助金利用プロジェクト実施に当たっては、必ずこのハンドブックを読んでいただく。
- ・ウェブサイトの活用を呼びかける。

2009-2010年度、第2660地区に配分されたDDFのうち、人道的分野で利用できる金額は、\$105,000で、内訳は地区補助金(DSG)が\$40,000、マッチンググラント(MG)へのDDFが\$65,000である。しかしながら、財団の財政状況悪化のため、ロータリー財団のプログラムに多大の影響が生じており、特にマッチンググラントの予算の大幅な削減、地区補助金授与計画の手続きの変更等は、今後の補助金の利用に掣肘を加えられる可能性が大きい。補助金の利用を考えておられるクラブにあっては、例年以上に早めに計画を立て、申請手続きに着手されるようお願いする(2008-2009年度は、年度途中でマッチンググラントの予算が枯渇し、申請中のクラブで次年度回しになったところがあった)。

### ○活動計画

人道的分野への補助金は

- (1)地区補助金
- (2)マッチンググラント
- (3)3H補助金(保健、飢餓追放及び人間性尊重のための補助金)の3つである。

2008-2009年度までは、このほかにボランティア活動補助金があったが、2009年7月7日から廃止された。また、3H補助金は、2009-2010年度は、ガーナ、フィリピン、ドミニカ共和国の水/衛生プロジェクトだけの支援とされており、3Hについては、競争制のマッチンググラントを利用することになっている。

マッチンググラント、地区補助金ともに申請の締め切りは、2010年2月末日であるが、上記\$105,000を上限とするので、それ以前であっても限度額に達すると申請は認められない。多数のクラブにお金を利用していただくため1回目の申請を優先し、同一年度2回目の申請は、予算が余った場合とする。

## ☆地区補助金

主として国内の地域社会への奉仕活動＝社会奉仕に対する補助金。一方ロータリークラブが存在しない国への支援にも利用できる。ただし、米国資産管理局制裁下にある国（ミャンマー、北朝鮮）には使えない。クラブは補助金を使用するに相応しいプロジェクトを立案して所定の地区補助金申請書を地区に提出し、地区の審査を経たうえ補助金の授与を受ける。クラブはプロジェクト終了後2か月以内に所定の最終報告書を領収証コピー、プロジェクトの写真とともに提出することが義務付けられている。既存の、又は進行中のプロジェクト、現金を供与するプロジェクトに補助金は出ない。文化的なプロジェクトでなく、人道的なプロジェクト、即ち、貧困者、障害者、幼児・老人等社会的弱者に対する支援の要素の含まれるものであることが必要とされる。今年度は、1件あたりの補助金をクラブの資金のうち補助金の授与可能な部分に対して同額を補助し、1クラブ当たりの上限を概ね金20万円とする（ただし、プロジェクトの内容によっては柔軟に対応する）。

## ☆マッチンググラント（Matching Grant）MG 財源はWF(DDFを付加できる)

援助を必要とする外国の地域社会への奉仕活動＝世界社会奉仕（World Community Service:WCS）を行うときに利用できる補助金。（DDFを使用すると補助金は大きくなる。MGを利用するには被援助国にロータリークラブが存在していなければならない。

- ・授与することのできるマッチンググラントは、\$5,000—\$25,000（通常はこの範囲で申請）
- ・大口マッチンググラントは25,001—\$150,000だが競争制

クラブは補助金を使用するに相応しいプロジェクトを立案して、当委員会にはDDF使用願いとマッチンググラント申請書のコピーを提出していただく。

当委員会は、地区WCS委員会の審査を経た後にDDF使用の観点からチェックをして、RI日本事務局財団室に提出してロータリー財団の承認を得たうえ、補助金の授与を受ける。地区補助金と同様に既存の、又は進行中のプロジェクト、現金を提供するプロジェクトに補助金は出ない。

今年度は1件当たりのDDFの上限を\$5,000とする（ただし、プロジェクトの内容によっては柔軟に対応する）。被援助国側の財団委員長長のサインで開始されたMGプロジェクトであっても、必ず当地区国際奉仕・WCS委員会と当地区人道的補助金委員会に報告していただく。

☆3H補助金に関しては、当委員会に問い合わせをしていただき、委員会よりRI日本事務局と連絡を取る。

《財団法人道的補助金委員会並びに地区補助金審査会開催予定日》

第1回 2009年7月16日（国際奉仕・WCS委員会と合同で開催）

第2回 2009年9月17日

第3回 2009年11月19日

第4回 2010年1月21日（国際奉仕・WCS委員会と合同で開催）

第5回 2010年3月18日（本年度最終の地区補助金審査会は3月とする。）

第6回 2010年5月20日（財団法人道的補助金委員会のみ）

# 米山奨学部門

## 米山奨学委員会

委員長	村橋	義晃	(大阪中之島RC)
副委員長	磯田	郁子	(大阪東淀ちややまちRC)
委員	米田	猛	(大阪西RC)
委員	武島	秀吉	(大阪御堂筋RC)
委員	西谷	雅之	(大阪城南RC)
委員	大西	寛司	(大東RC)
委員	中川	和之	(大阪船場RC)
委員	小山	義之	(大阪鶴見RC)
委員	和田	武彦	(大阪梅田東RC)
委員	吉田	悦治	(大阪大淀RC)
委員	有竹	正巳	(大阪東RC)
委員	田中	真人	(大阪北RC)

### ○活動方針

米山奨学制度の理念を尊重し、ロータリアンと奨学生の良い信頼関係を築く活動を基本方針として、地区内のクラブ米山奨学活動を支援することにより、地区において米山奨学制度への理解を深め、寄付の増進に繋げられる活動を展開する。又、学友会との連携を強化し、米山奨学修了生との緊密な関係の維持改善に努める。

### ○活動計画

#### 2009年 4月14日：新規採用奨学生オリエンテーション

世話クラブのカウンセラーと奨学生の相互理解を支援し、奨学生には米山奨学生としての心得を理解させ、カウンセラーのロータリアンには奨学生との信頼関係構築を御願います。

#### 2009年 8月 1日：クラブ米山奨学委員長・カウンセラー研修会

クラブ米山奨学委員長には米山奨学制度の理念と活動方針の理解を深め、寄付活動の促進を御願います。

クラブカウンセラーには奨学生との更なる信頼関係構築を依頼する。

#### 2009年10月18日：奨学生リクレーション

宝塚歌劇観劇のリクレーションを通じて、奨学生に日本文化に触れる機会を提供し、懇親会にてロータリアンとの親睦を深め、各奨学生の近況報告等を発表してもらい、相互理解を深める機会とする。

#### 2009年12月下旬：奨学生採用書類選考

地区役員及び地区委員によって指定校の担当教授から推薦された応募奨学生の推薦書、学業成績、小論文等による一次書類選考を行なう。

#### 2010年 1月11日：奨学生採用面接選考

次年度の奨学生選考に際し、学業成績のみではなく米山奨学制度の理念と日本の文化を正しく理解し、ロータリアンと良好な信頼関係を構築出来るコミュニケーション能力のある奨学生の選考を行なう。

#### 2010年 2月 7日：奨学生修了歓送会

米山奨学生の修了に伴い、カウンセラー、担当教授の同席を得て終了証、記念品の贈呈を行ない、奨学生修了を祝し、又、カウンセラー、担当教官への感謝を表し、相互の信頼関係の促進と奨学生修了後の学友会への入会促進を行なう。

# 地区大会実行委員会

委員長	丹羽 健二 (大阪西南RC)
副委員長	品川 潔 (大阪西南RC)
プログラム委員長	村井 史郎 (大阪西南RC)
幹事	木村 雅彦 (大阪西南RC)

## 【コンセプト】

地区大会の目的の第一に、朋友との交流が掲げられています。地区大会第1日は、交流親睦にスポットを当て、ロータリアンが心から楽しめる大会としてまいります。「お祭り」的雰囲気演出し、会員相互の親睦に大いに寄与できる企画を進め、楽しい大会としてまいりますので、是非とも、御夫妻御一緒にお楽しみください。

地区大会の第二の目的は、ロータリアンに感銘を与えることです。地区大会第2日では、「ロータリーを身につける場」として、ロータリアンに感銘深いプログラムを提供してまいります。本会議は、ビジュアルかつスマートな演出により、垢抜けしつつ格式のあるものを目指し、時間を感じさせない演出を心がけてまいります。

ロータリーの未来はあなたの手の中に—この地区大会での経験を礎に、ロータリーの未来をともに築いて行きましょう！

「参加して良かった！」と喜んでいただける地区大会を実現すべく、地区大会実行委員会一同努めてまいります。数多くの皆様のご参加をお待ちいたしております。

## 【日程・開催場所及び内容】

第1日 日時：2010年2月26日（金）

13：30～15：00

場所：リーガロイヤルホテル、菊の間・桐の間・桂の間

内容：会長幹事懇談会・分科会A・分科会B

15：30～17：00頃

場所：リーガロイヤルホテル、ロイヤルホール

内容：開会式・セレモニー・イベント

12：30～18：00

場所：リーガロイヤルホテル、3Fラウンジ

内容：友愛の広場

18：00～

場所：リーガロイヤルホテル、光琳の間

内容：RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

第2日 日時：2010年2月27日（土）

13：00～17：00

場所：大阪国際会議場、5Fメインホール

内容：本会議

12：00～

場所：大阪国際会議場、5Fホワイエ

内容：友愛の広場

**【登録について】**

会員は、全員登録とする

登録料

会員@5,000円

会員家族@5,000円

RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会@20,000円

地区資金

在籍会員数一人5,000円

# ロータリーの友

地区委員 露口 佳彦 (大阪西南RC)

- 1 「ロータリーの友」委員としての任務役割を充分認識理解した上で、ガバナーと連携して地区の情報の収集、発信、伝達に努むべきことが中心であり、その為には、
  - ①地区雑誌委員長会議の開催につとめて各クラブに「ロータリーの友」への理解を深める
  - ②地区大会、地区協議会など各種会合に参加して地区内活動情報の収集につとめる
  - ③地区の合同会議、ゾーン別会議へ出席して情報を収集するなどのことは当然しなければならないことである。
- 2 併しロータリーの友の委員の活動で重要なことは、上記以外に如何に「ロータリーの友」をロータリークラブの会員に読んでもらうかを考え、その為に努力すべきことであると考え。如何にすぐれた「ロータリーの友」を作成しても会員に読んでもらえなければ勿体ない話である。私の場合を省みても「ロータリーの友」委員となるまではごく一部の記事を拾い読みするだけで全体を詳しく精読したことはなかったというのが正直なところであり、大部分の会員も同様であろうと思われる。併し「ロータリーの友」にはロータリアンとして活動するに有用で基本的知識が多く掲載されており、理事役員として、また各種の委員会の委員として活動するに当って「ロータリーの友」を読んでいることによってロータリアンとしての視野が広がり、また活動の範囲も広がり、しかも誤ることがないと思われる。ロータリアンが活動するに当りロータリーの目的、使命、役割、組織、活動、財務などの事項について関心をもち、正確な知識を有することが望ましく、之は結局ロータリアンとしての自覚、主体的な意欲の問題であるとしても「ロータリーの友」委員としては之を刺戟して目覚めさせる機会を作る努力をしなければならないと思う。例えばクラブのバズセッションで各月の月間テーマについて「ロータリーの友」の記事を頭に入れておけば議論に具体性と内容の充実が期待できると思われるし、雑誌委員会で「ロータリーの友」が発刊される度に注目すべき記事をPRして一読を勧めるなど、他に具体的な方法はなかなか思いつかないが折に触れ辛抱強くやる他はないと思う。自分としては少なくともロータリーの友委員である限りは毎日一定時間をロータリーに割き、書物、雑誌を読み、先人の思想に学び、考え、ロータリーとは何かをあらためて勉強しなおし、ロータリーに関する情報を収集し、伝達するだけでなく、ロータリーの友誌が出来ただけ多くの会員に読まれる為の前提となるロータリーへの知的関心を会員に喚起するための方策を考え続けてゆきたいと考えている。

# 地区財務委員会

委員長	高谷 晋介 (大阪西南RC)
委員	西口 宗宏 (大阪中央RC)
委員	田中 昌之 (大阪八尾RC)
会計	油井 滋 (大阪西南RC)

## ○活動方針（予算編成方針）

### 1. 地区会計の仕組みと予算編成の考え方

●地区会計の仕組みは、次の会計単位に区分されています。

(1) 一般会計は、①地区運営資金と②地区活動資金に区分経理されています。  
又、(2) 特別会計は、①地区大会資金②米山奨学生活動資金 ③世界社会奉仕基金  
④RI規定審議会派遣積立金 ⑤ロータリー研究会準備基金の5項目に区分され、管理されています。その他(3) 地区基金(4) 地区大会会計(5) 地区協議会会計が設けられています。

なお、地区大会会計及び地区協議会会計は地区予算とは切り離されて別途管理されます。

●この仕組みを前提に、収支の予算編成が行われているわけですが、その基本方針は従来のもを踏襲しています。具体的には、会員数の減少の中、地区予算の緊縮化を継続し、地区財政の支出予算削減を行い、その健全化を図る一方、地区の果たすべき役割の視点から地区活動の効率化を指向しました。

### 2. 会員数及び会員の基礎（収入予算の基本方針）

(1) 会員数については、2009年7月1日現在で、3,900名と推定しています。

(推定根拠)

過去5年間の12/末会員数と6/末会員数の減少率の最大値は3.8%(最小値1.9%)となっています。

'08 12月末会員数 4,052人 × (1-0.038) = 3,898人

(2) 会員一人当たりの負担額を前年並みで維持します。

収入総額 = @22,000円 × 3,900人 = 85,800千円

(3) これを前年と同様の人頭配分割に基づき、次の三つの資金に配分します。

資金の区分	人頭配分割	会員数	収入予算額
地区運営資金	@9,500円	× 3,900人	= 37,050千円
地区活動資金	@7,500円	× 3,900人	= 29,250千円
地区大会資金	@5,000円	× 3,900人	= 19,500千円

### 3. 各会計単位の支出予算の基本方針

(1) 一般会計

#### ①地区運営資金

地区運営資金はガバナー事務所全体に係る一般管理費です。ガバナー事務所経費は事務局から予算見積を提出して頂き、前年実績支出額を参考にしつつ、予算査定致しました。その結果、2. で述べました通り、地区運営資金の1人当たり負担金9,500円を前年に引き続き据え置いたものの、会員数の基礎数を3,900人



とした為、地区運営資金の赤字幅が2,200千円となりました。

## ②地区活動資金

地区活動資金は各委員会に係る活動費です。

予算編成に当たりましては、あらかじめ、すべての次期地区委員長予定者から、次年度の事業予定と希望予算額を提出いただいたうえ、次期委員長予定者と面談を行い、事業計画についてヒアリングを行い、加えて過去の支出実績等を勘案して予算査定を行いました。その結果、2. で述べました通り、一人当たり負担金7,500円を前年に引き続き据え置いたものの、会員数の基礎数を3,900人としたため、地区運営資金の赤字幅は、ロータリー研究会準備基金への繰入れ1,000千円を含めて3,530千円となりました。

## (2) 特別会計

### ①地区大会資金

1人当たり負担金は5,000円に据え置いています。大会運営費として、今年度は、各クラブに全員登録をお願いし、別途、登録料(1人当たり5,000円)の負担をお願いしています。前年度の繰越金は本年度の地区大会予算に当されます。ホストクラブは、別途、地区大会予算を策定し、(4)の地区大会会計として管理して、決算について財務委員会の監査を受けるものとしています。

### ②米山奨学生活動資金

本部からの支援金を、地区米山奨学委員会の決定に基づき配分します。

### ③世界社会奉仕基金

個別のクラブがWCS活動を実施せず、地区で実施するWCS活動に参加する場合において、その収支を取り扱う特別会計です。後日、参加クラブ確定後、担当委員会と協議のうえ、具体的に決定致します。

### ④R I 規定審議会派遣積立金

3年に一度開催されるR I 規定審議会への派遣費用の積立金です。地区活動資金から、年40万円を積立てます。

### ⑤ロータリー研究会準備基金

本年度特別会計の予算では、'10～'11年度に当地区で開催が予定されているロータリー研究会の準備基金を新規に設定しています。地区活動資金から1,000千円をこの特別会計に繰入れしています。

## (3) 地区基金

地区の財政基盤の安定確保のため、2,000万円の繰越金を固定化しています。特別の用途は予定していませんが、その取崩しは諮問委員会に諮ることとされています。

## (4) 地区大会会計

別途の会計単位として、地区大会の収支を取扱います。

## (5) 地区協議会会計

前年度の方針にならい、クラブ規模により登録料を2つに区分し、会員数30名以上のクラブは12万円、会員数29人以下のクラブは10万円を徴収します。この結果、総収入金額は減少することになりますので、地区運営資金の予算上、地区協議会予算からの剰余金の戻入は雑収入予算に計上しておりません。地区協議会会計も地区大会会計と同様に、別途の会計単位として取り扱われます。ホストクラブが、別途、地区協議会予算を策定し、管理して、決算について財務委員会の監査を受けるものとしています。

#### 4. 繰越金の使用について

- 繰越金の残高（'07～'08年度の確定金額、'08～'09年度は未確定）は次の通りです。

地区運営資金 20,882千円

地区活動資金 28,097千円

- 今回の予算編成においても、単年度赤字を回避することは出来ず、各クラブ及び会員の負担増を回避するためには、繰越金の一部を取り崩す必要があります。
- 具体的には、3.（1）及び（2）で述べました様に、本年度予算におきまして、会員数の基礎数を3,900人とした為、地区運営資金の赤字幅が2,200千円となり、また、地区活動資金の赤字幅は、ロータリー研究会準備基金への繰入れ1,000千円を含めて3,530千円となりました。その結果、運営・活動資金を併せた赤字幅は、5,730千円になっております。

#### ○活動方針

- （1）緊縮予算の継続と財政基盤の安定化
- （2）あるべき地区機能のあり方からみた地区活動の効率化・合理化
- （3）地区会計の明瞭性の確保
- （4）会員数の減少に対応した地区会計（特に地区運営資金と地区活動資金の人頭配分割）のあり方の検討

以上のことを踏まえ、地区会計の予算執行の進捗状況を監視し、健全性及び透明性に努めてまいります。

## 地区資産・特別会計・地区基金会計予算

## 地区運営資金

## 収入の部 (単位:円)

科目	金額
1. 地区資金	37,050,000
2. RI助成金	2,000,000
3. 雑収入	500,000
収入合計	39,550,000

## 支出の部 (単位:円)

科目	金額
A. 負担金	
1. ガバナー会	800,000
2. ローターリ図書館	1,200,000
3. 平和奨学生支援協力金	60,000
小計	2,060,000
B. 会議費	
1. 地区チームLTS	—
2. 会長エレクトTS	—
3. PETS・地区チーム合同セミナー	900,000
4. 地区合同委員会	1,000,000
5. 財団セミナー	500,000
6. DPGGE会議	500,000
7. G補佐・地区幹事会	50,000
8. GE国際協議会	730,000
9. 予備費	100,000
小計	3,780,000
C. ガバナー事務所経費	29,850,000
D. ガバナー月信費	5,500,000
E. ガバナー補佐経費	300,000
F. 直前DG記念品	100,000
G. 総予備費	160,000
支出合計	41,750,000
収支差額	△2,200,000
前年度繰越金	9,397,588
次年度繰越金	7,197,588

## ガバナー事務所経費

(単位:円)

科目	金額
1. 家賃・光熱費	4,500,000
2. 給料・手当	16,250,000
3. 厚生費	2,300,000
4. コンピューター関係費用	1,300,000
5. DGGE交通会合費	900,000
6. 印刷費	1,400,000
7. 交通通信費	1,500,000
8. 文庫費	100,000
9. 事務用品費	600,000
10. 什器備品費	200,000
11. 雑費	500,000
12. 予備費	300,000
合計	29,850,000

## 地区活動資金

## 収入の部 (単位:円)

科目	金額
1. 地区資金	29,250,000
2. 地区広報基金振り戻し	—
収入合計	29,250,000

## 支出の部 (単位:円)

科目	金額
A. 地区委員会活動費	
1. DG指名(委)	50,000
2. 意義ある業績賞(委)	30,000
3. クラブ奉仕部門	
①クラブ奉仕・拡大増強(委)	600,000
②広報(委)	700,000
4. 職業奉仕部門	
職業奉仕(委)	360,000
5. 社会奉仕部門	
社会奉仕(委)	500,000
6. 青少年奉仕部門	
①新世代合同・危機管理(委)	40,000
②青少年活動(委)	6,300,000
③ローターアクト(委)	5,400,000
④青少年交換(委)	6,300,000
⑤インターアクト(委)	2,200,000
7. 国際奉仕部門	
国際奉仕・WCS(委)	400,000
8. ローターリ財団部門	
①ローターリ財団(委)	300,000
②財団情報・増進(委)	50,000
③財団奨学金・学友(委)	800,000
④研究グループ交換(委)	2,700,000
⑤財団人道的補助金(委)	50,000
9. 米山奨学部門	
米山奨学(委)	400,000
10. RI規定審議会派遣積立金	400,000
11. RI JYEC維持協力金	400,000
12. 予備費	1,200,000
小計	29,180,000
B. RI会長DG強調事業費	—
C. IM広報活動補助金	2,400,000
D. 研修委員会	200,000
E. ローターリ研究会準備基金繰入れ	1,000,000
支出合計	32,780,000
収支差額	△3,530,000
前年度繰越金	17,333,410
次年度繰越金	13,803,410

## 特別会計

## 1. 地区大会資金 (単位:円)

科目	金額
前年度繰越金	6,284,673
地区資金	19,500,000
地区大会会計へ	19,500,000
地区大会会計から戻入	
次年度繰越金	6,284,673

## 2. 米山奨学生活動費

## 【収入の部】 (単位:円)

科目	金額
(財)米山記念奨学会より	2,700,000
選考試験補助金	
カウンセラー研修会補助金	
レクリエーション登録料	
米山奨学歓送会登録料	
受取利息	
収入合計	2,700,000

## 【支出の部】 (単位:円)

科目	金額
米山活動費	
カウンセラー研修会	2,700,000
情報交換会	
レクリエーション	
選考会	
歓送会	
オリエンテーション	
米山奨学会学友会支援	
印刷・郵送	
(財)米山記念奨学会へ返金	
支出合計	2,700,000
収支差額	0
前年度繰越金	0
次年度繰越金	0

## 3. 世界社会奉仕基金

## 【収入の部】 (単位:円)

科目	金額
クラブ拠出金	
受取利息	
収入合計	0

## 【支出の部】 (単位:円)

科目	金額
プロジェクト資金	
送金手数料	
支出合計	
収支差額	
前年度繰越金	1,604,219
次年度繰越金	1,604,219

## 4. RI規定審議会派遣積立金 (単位:円)

科目	金額
前年度繰越金	1,201,400
地区活動資金繰り入れ	400,000
実際派遣事業	
次年度繰越金	1,601,400

## 5. ローターリ研究準備基金 (単位:円)

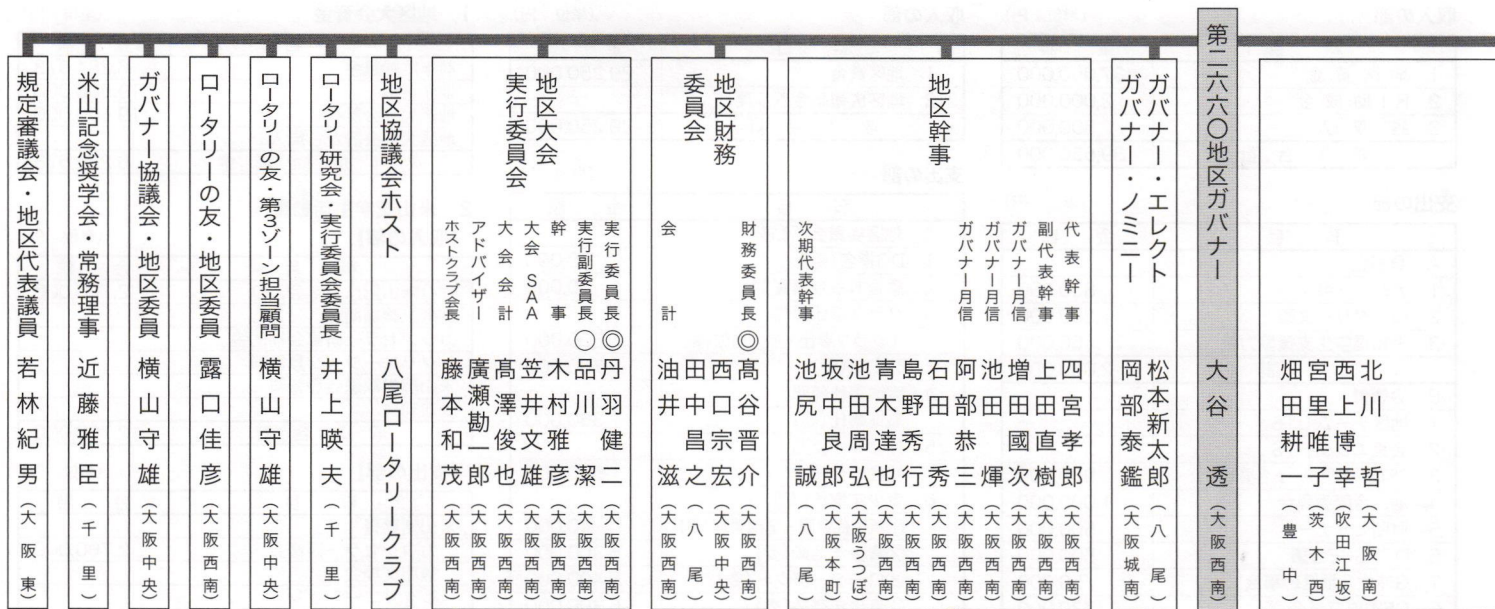
科目	金額
前年度繰越金	
地区活動資金繰り入れ	1,000,000
次年度繰越金	1,000,000

## 地区基金

(単位:円)

科目	金額
前年度繰越金	20,000,000
受取利息	
本会計へ取り崩し	
利息を本会計へ繰り入れ	
次年度繰越金	20,000,000

2009~10年度 国際ロータリー第2660地区 《組織図》



**米山奨学部門**

- 顧問 若林 紀男 (大阪東)
- 米山奨学委員会**
- ◎村橋 義晃 (大阪中之島)
  - 磯田 郁子 (大阪東淀川)
  - 武島 秀吉 (大阪御堂筋)
  - 米田 猛 (大阪西)
  - 西谷 雅之 (大阪城南)
  - 大西 寛治 (大東)
  - 中川 和之 (大阪船場)
  - 小山 義之 (大阪鶴見)
  - 小吉 田悦治 (大阪大淀)
  - 和田 武彦 (大阪梅田東)
  - 有竹 正巳 (大阪東)
  - 田中 真人 (大阪北)
- 研究グループ交換委員会**
- ◎吉川 邦英 (大阪)
  - 吉崎 広江 (東大阪東)
  - 小野 佳彦 (大阪難波)
  - 西野 博子 (大阪イブニング)
  - 田中 義久 (大阪西)
  - 岸上 億則 (千里メイプル)
  - 田邊 司郎 (寝屋川)
  - 松崎 浩一 (大阪北)
  - 米田 真 (豊中)
- 財団法人道的補助金委員会**
- ◎山口 勝之 (高槻東)
  - 太田 敏一 (大阪西南)
  - 家村 武志 (吹田西)
  - 山本 雅昭 (大阪北)
  - 辻川 功一 (大阪中央)
  - 五味 千秋 (大阪心斎橋)
  - 川田 隆 (八尾)
  - 和氣 主 (大阪北梅田)
  - 樋口 信治 (大阪)

**ロータリー財団部門**

- 顧問 新谷 秀一 (池田くれは)
- ロータリー財団委員会**
- ◎福家 宏 (八尾中央)
  - 大竹 洋一郎 (門真)
  - 吉川 邦英 (大阪)
  - 山下 勝弘 (東大阪)
  - 山口 勝之 (高槻東)
- 財団情報・増進委員会**
- ◎大竹 洋一郎 (門真)
  - 百濟 洋一 (東大阪中央)
  - 西田 末彦 (大阪中之島)
  - 長谷川 龍司 (豊中南)
  - 鈴木 肇 (大阪船場)
  - 柏木 武生宜 (八尾)
- 財団奨学金・学友委員会**
- ◎山下 勝弘 (東大阪)
  - 梅崎 道夫 (大阪城南)
  - 河内 幸枝 (吹田)
  - 道満 隆 (豊中-大阪国際空港)
  - 入船 禎三 (大阪東)
  - 北 埜 登 (東大阪東)
  - 岡市 正規 (茨木東)
  - 栢本 義臣 (吹田西)
  - 牧尾 晴喜 (大阪ネクスト)
  - 三好 えり子 (大阪ねざぎ)

**国際奉仕部門**

- 顧問 宮田 宏章 (大阪北)
- 国際奉仕・WCS委員会**
- ◎戸田 和孝 (大阪東淀川)
  - 小林 澄子 (守口イブニング)
  - 古澤 照明 (豊中)
  - 大藤 辰弘 (吹田西)
  - 西邨 智雄 (香里園)
  - 石田 秀 (大阪西南)
  - 谷村 佳昭 (東大阪西)
  - 栗原 大 (大阪フレンド)
  - 吉田 政雄 (茨木)
- 青少年交換委員会**
- ◎岡田 俊作 (大阪本町)
  - 泉 博朗 (大阪住吉)
  - 吉野 正史 (大阪天満橋)
  - 角谷 真枝 (茨木西)
  - 田邊 和宏 (大阪西南)
  - 金本 恒二郎 (大阪天王寺)
  - 野村 正勝 (箕面中央)
  - 小林 博隆 (大阪梅田)
  - 濱谷 和也 (東大阪)
  - 森本 章裕 (大阪天満橋)

**青少年奉仕部門**

- 顧問 吉川 謹司 (東大阪東)
- 新世代合同委員長会議  
危機管理委員会**
- ◎吉川 謹司 (東大阪東)
  - 松本 新太郎 (八尾)
  - 陶 柳之介 (箕面)
  - 津本 清次 (大阪淀川)
  - 田中 康正 (八尾)
  - 岡田 俊作 (大阪本町)
  - 山下 勝弘 (東大阪)
  - 吉川 邦英 (大阪)
  - 村橋 義晃 (大阪中之島)
  - 中島 武 (大阪堂島)
  - 菅 沼 清高
  - 岩本 洋子 (大阪ねざぎ)
- 青少年活動委員会**
- ◎陶 柳之介 (箕面)
  - 岡本 啓吾 (大阪中之島)
  - 末田 良介 (大阪ねざぎ)
  - 新庄 幸一 (枚方)
  - 丸尾 照二 (大阪御堂筋)
  - 餅野 法善 (大阪なにわ)
  - 南 樹一 (大阪南西)
  - 荒石 義一郎 (大阪咲洲)
  - 小川 泰彦 (大阪梅田)
  - 辻本 容治 (寝屋川)
  - 金馬 隆仁 (吹田江坂)
  - 二上 寛弘 (大阪阿倍野)
  - 植田 昌克 (大阪北)
  - 井上 嗣仁 (大阪中央)
  - 角本 浩一 (大阪城北)
  - 桑田 日出男 (大阪難波)

国際 ロータリー	会長	John Kenny
	理事	Hsieh, Jackson San-Lien
	理事	黒田 正宏
	理事エレクト	近藤 雅臣

地区研修委員会

- 〇〇〇〇〇
- 三金横神井戸  
木森山崎上田  
市守 暎  
優造雄茂夫孝  
(大阪イニシ) (大阪中央) (大阪西) (八尾)

ガバナー補佐

- 藤青重井鈴西大橘  
木木里上木垣森高  
誠一國隆文保又  
郎郎慶晴洋雄子  
(大阪阿倍野) (大阪天満橋) (八尾東) (大東中央) (茨木西)

ガバナー補佐エレクト

- 泉田高山山西北宮  
博壽凱崇重房他内  
朗秋夫雄三実敏  
(大阪住吉) (大阪中之島) (大阪北梅田) (東大阪みどり) (守口) (豊中) (高槻東)

地区ガバナー指名委員会

- ◎ 新岩神宮横  
谷崎田山  
秀宙宏守  
一造茂章雄  
(池田くれは) (大阪南) (大阪西) (大阪北) (大阪中央)

地区諮問委員会

名誉顧問

パストガバナー

- 坂横新岩神宮若井寺吉近中熊大菅廣戸  
東山谷田崎田林上田川藤川澤森生瀨田  
宏雄一造茂章男夫之司臣三躬祥三郎孝  
(吹田) (大阪中央) (池田くれは) (大阪南) (大阪西) (大阪北) (大阪東) (千尾) (大阪城南) (守口) (茨木) (大阪北) (大阪西) (八尾)

社会奉仕部門

顧問 岩田 宙造 (大阪南)

社会奉仕委員会

- ◎ 片山 勉 (大阪東)  
○ 高田 知彦 (大阪リバーサイド)  
○ 森川 嘉夫 瑠 (摂津)  
○ 表 寛 治 (池田くれは)  
川上 大雄 (大塚エリカシティ)  
初木 賢 司 (くずは)  
西宮 富夫 (箕面)  
萬年 成 泰 (千里)  
土井 孝 夫 (大阪東)

職業奉仕部門

顧問 神崎 茂 (大阪西)

職業奉仕委員会

- ◎ 中嶋 進 治 (大阪城東)  
○ 上田 耕 司 (大阪大手前)  
○ 鈴木 洋 (八尾東)  
長崎 弘 芳 (大東中央)  
若林 尚 史 (くずは)  
岸本 隆 之 (豊中千里)  
佐野 元 英 (大阪平野)  
生駒 俊 雄 (高槻)

クラブ奉仕部門

顧問 横山 守雄 (大阪中央)

クラブ奉仕・拡大増強委員会

- ◎ 松川 雅 典 (新大阪)  
○ 常國 克 輔 (大阪城北)  
○ 西村 俊 彦 (東大阪みどり)  
川上 善 司 (大阪平野)  
安田 千 恵 子 (大阪柏原)  
安養寺 敏 彦 (交野)  
松尾 浩 一 (大阪南)  
堀 隆 (大阪東)  
松田 清 司 (大阪東南)

意義ある業績賞委員会

- ◎ 横山 守雄 (大阪中央)  
岩田 宙造 (大阪南)  
新谷 秀一 (池田くれは)

ローターアクト委員会

- ◎ 津本 清 次 (大阪淀川)  
○ 山内 康 俊 (大阪西)  
○ 池田 佳 弘 (大阪梅田)  
○ 梅澤 喜 八 郎 (東大阪西)  
○ 山村 安 徳 (東大阪東)  
○ 川上 富 清 (大阪住吉)  
福室 忠 正 (吹田)  
西村 晋 (池田くれは)  
清水 雄 一 郎 (大阪北)  
中村 剛 (大阪南)  
永田 大 介 (池田)  
辻本 一 義 (東大阪)

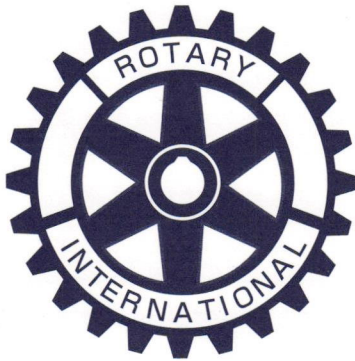
インターアクト委員会

- ◎ 田中 康 正 (八尾)  
○ 谷野 清 孝 (大阪阪南)  
○ 廣内 謙 (大阪南)  
○ 奥田 吾 朗 (大阪)  
田川 和 見 (大東)  
若林 嘉 寛 (大阪住吉)

広報委員会

- ◎ 中島 武 (大阪堂島)  
源本 将 人 (くずは)  
砂川 秀 雄 (大阪西北)  
濱田 多 喜 男 (大阪うつほ)  
片山 一 歩 (大阪住之江)  
上田 克 己 (大阪)  
木村 芳 樹 (大阪南)

◎: 委員長もしくはリーダー  
○: 副委員長もしくはサブリーダー



**ROTARY INTERNATIONAL  
DISTRICT 2660**